

プログラミング論 I

課題(ろ)

2009 年 7 月 2 日

下記の課題(ろ)を行い，後述の提出方法に従い提出せよ．

提出期限は 2009 年 7 月 15 日 23 時 59 分である．

課題(ろ)

二重の for 文を用いて下記の九九の表を表示するプログラムを作成せよ．

1	2	3	4	5	6	7	8	9	1×9
2	4	6	8	10	12	14	16	18	2×9
3	6	9	12	15	18	21	24	27	2×8
4	8	12	16	20	24	28	32	36	
5	10	15	20	25	30	35	40	45	
6	12	18	24	30	36	42	48	54	4×8
7	14	21	28	35	42	49	56	63	
8	16	24	32	40	48	56	64	72	
9	18	27	36	45	54	63	72	81	9×4
									9×8

表示する数値の桁数が異なるため，表示がずれてしまう場合は

```
printf("%3d", x);
```

とすると，必ず三桁用いて表示される．

例えば， $x=3$ の場合は " 3" と (空白, 空白, 3 と) 表示され，

$x=15$ の場合は " 15" と (空白, 1, 5 と) 表示される．

提出方法

下記の 2 個のファイルを作成し、ct13140@ns.kogakuin.ac.jp 宛に電子メールに添付して提出せよ。

メールの **Subject:(件名)**は必ず「ProRo1Rep20090702:学籍番号」の形式にすること。例えば、学籍番号が c508001 の場合「ProRo1Rep20090702:c508001」となる。学籍番号の途中にハイフン(-)を入れないこと。学籍番号の前がコロン:であることに注意。宛先アドレスやメール **Subject** を誤るとレポートが受理されないので注意すること。アーカイブ化や圧縮をしないこと。

- ・ ファイル(1)

課題(ろ)で作成したプログラムの C 言語ソースファイル。

ソースファイルは拡張子が .c または .cpp であるもの。ファイル名は、「ro.c」または「ro.cpp」とせよ。C 言語のソース以外を提出しないこと。

- ・ ファイル(2)

レポート本体。

1 ページ目に、課題名(プログラミング論 I 課題(ろ))、提出日、学部、学科(コース)、学年、学籍番号、氏名を記述する。再提出である場合は、再提出であることと、その回も含めこれまでの全ての提出日を記述する。

2 ページ目以降に、作成したプログラムの解説、実行結果、考察を記述すること。プログラムの解説は詳しいほど良い。考察は本課題に関することであれば何でも良い。採点の対象となる。また、授業やプログラムを作成する上で分からないこと、難しいと感じていることを記述していただくとありがたいが採点の対象とはならない。ファイル形式は PDF 形式か、Microsoft Word 形式とし、ファイル名は「20090702.pdf」か「20090702.doc」とせよ。Microsoft Word を用いるときは、「Word 文書 97-2003」形式で保存せよ。すなわち、「.docx」形式は認めない。トラブルを回避するために PDF 形式による提出を推奨する。

再提出である場合は前回までのレポートと、今回のレポートの違いを明記すること。

提出期限

2009 年 7 月 15 日 23 時 59 分までにメールが到着する様に提出すること。

自宅等でプログラムの作成を行うことや、自宅から提出することは問題ないが、自己責任で行うこと。工学院大学の計算機システムのトラブル以外は遅延の理由として認めない。完成していなくても採点の対象とする。提出が遅れても採点の対象とするが、遅れは減点の対象とする。期限より早い提出は加点の対象とする。

上記アドレスにレポート以外のメール(質問など)を送っても読まれないので注意。